令和 5 年 2 月 25 日

# 国立医薬品食品衛生研究所旧庁舎解体撤去及び土壌汚染対策工事

## 1. これまでの経緯

令和2年4月より、旧庁舎の解体撤去工事を実施してまいりました。

工事開始直前の、新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言や、解体工事の騒音・振動対策として重機使用時間の制限等を行ったこともあり、当初予定の令和4年3月末までの工事を1年延長して令和5年3月末までとして対応してまいりました。

工事も最終段階となった昨今、旧陸軍及び GHQ の古い建物の土間基礎や埋設コンクリートガラ等が敷地の広範囲にわたって埋設されていることが確認され、工期・工事費用とともに当初の計画及び工事契約の範囲で実施することが困難となったため、今回の工事中断となりました。

## 2. 今後の予定

工事は、一旦休止させていただきます。ただし、敷地内の砂埃が飛散しないようにするため、飛散防止剤の散布を予定しています。飛散防止剤は、芝の種まきに汎用されている薬剤で、メーカーの安全データシートに「危険有害性はなし」とされているものを使用いたします。これを水道水で希釈して散布する予定です。

また、休工となる令和5年度期間中は、現在設置している工事事務所を残し、巡回警備も行います。

国立医薬品食品衛生研究所として、今後も、この敷地の管理を適切に行ってまいります。

### ○ 令和5年度の予定と環境保全措置

| 実施事項 | 概要 |
|---|---|
| 粉じん対策 | 外周を B 型バリケードで養生するとともに、バリケードのメッシュ部分をシートで養生することで、粉じんの飛散防止を図ります。 |
| 飛散防止剤の散布 | 予定していた砕石敷き均しは、次の工事（埋設コンクリートガラ等の除去）に影響するため、粉じんの飛散防止剤を散布いたします。 |
| 濁水防止 | 敷地内の土砂が流出しないよう、現在の解体工事において雨水側溝等の整備を行っています。 |
| 巡回警備 | 一定の頻度で巡回警備を行います。 |
| 工事事務所 | 現在設置している工事事務所は残置いたします。 |
| 侵入防止策 | 現在設置している B 型バリケードによる侵入防止を行います。 |

## 3. 残工事の施工について

残工事となる、8号館杭の引き抜きや埋設コンクリートガラ等の除去工事は、令和6年度に実施を予定しております。

○ 次期工事概要

| 工種 | 概要 |
|---|---|
| 8号館杭の引き抜き | 8号館の杭基礎の引き抜き工事を行います。<br>埋め戻している土砂の掘削・埋め戻しと、埋め戻し後の土留鋼矢板の引き抜きを合わせて行います。 |
| 埋設コンクリートガラ等の除去 | 敷地の広範にわたって埋設されている、コンクリートガラ等の除去を行います。 |
| 東側擁壁の撤去 | 老朽化している東側擁壁の撤去を予定しています。 |
| 西側擁壁の撤去 | 老朽化している西側擁壁についても一部撤去を予定しています。 |
| 水道管閉塞 | 国立医薬品食品衛生研究所に引き込んでいた水道管の閉塞工事を行います。 |
| 造成工事 | 雨水排除のための排水勾配確保や、桝・側溝等の設置を行います。また、粉じん対策のため砕石敷き均しを予定しています。 |
| 工損調査（建物調査） | 今回の解体工事と同様に工事影響が発生していないかの確認のための建物調査を予定しています。<br>時期的に、この後予定している解体工事の事後調査が、次期工事の事前調査となると考えております。<br>次期工事の事後調査は、今回工事と同様に実施を予定しています。 |

○ 今後の予定

| | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 令和 6 年度予定 |
|---|---|---|---|
| 現工事 | [redacted] | | |
| 飛散防止剤散布 | | [redacted] | |
| 巡回警備 | | [redacted] | 工事の現場管理に移管予定 |
| 建物調査 | | [redacted] | |
| 次期工事 | | | [redacted] |

以上

国立医薬品食品衛生研究所